

建築新人戦2023

総合資格
学院から

梅田スカイビルで最優秀作品を決める公開審査を行った。

建築新人戦2023（主催）

実行委員会、総合資格学院）の公開審査が17日、

大阪市内で開かれ、小西美海さん（広島工業大学3年）

の作品「私たちは極楽を知っている」が最優秀新人賞に選ばれた。作品は広島市

佐伯区の敷地に地域を豊かにぎやかにする大学図書館と銭湯の複合施設案。

「靴を脱いで本を読む」と、情報の入り方が違うと感じている。こういう施設があると最高だ」「大学は4年ごとに人が変わる。銭湯で周囲との交わりが起こることが、新しい公共性のように考えるとすごく面白い」などと高く評価された。

建築新人戦（実行委員長

光嶋裕介神戸大学特命准教授、協賛日刊建設工業新聞社）は建築を学ぶ3

年生までの大学生や専門学校生らが授業で制作した課題設計作品を対象に開催。

6月から応募登録を受け付け、1198点が登録。8月に作品を受け付け、上位100点を選ぶ1次審査を経てこの日、大阪市北区の

最優秀に小西美海さん（広島工大）

公開審査は永山祐子武蔵野美術大学客員教授（審査員長）、工藤浩平氏（工藤浩平建築設計事務所）、中山英之東京芸術大学准教授、畑友洋神戸芸術工科大学准教授、谷川嘉治京都市立芸術大学専任講師が上位16作品を選び、さらに上位8作品を絞り込んだ。学生8人は映像や模型で設計趣旨などを説明。審査委員は学生から設計意図や考え方などを聞いて感想を述べ、作品の本質を探った。

審査委員は意見交換を重ねた上で投票、最高得点10点を獲得した小西さんの作品が最優秀新人賞に輝いた。

表彰式では、永山審査員長らが賞状や副賞などを入賞者に手渡した。

小西さんは「大学の講評



小西さん



最優秀作品の模型④と公開審査の様子

会では最優秀賞を取れず悔しかったが、先生に建築新人戦への出展を勧められ応募した。今日は自分の作品が審査員の先生の心に刺さり、1位を取ることができた。とても幸せ。受賞を糧に、これからも頑張りたい」と語った。

総評で永山審査員長は「与えられた課題に対して、自分の側に引き込んで、相手をはっきりさせるような答えを出してくる作品はないか」という視点で選んだ。実社会に出ると、大学の課題以上に課題を突き付けられる。それを自分のアイデアで打ち返せるような力を

【優秀】

▽「コビトノセカイ」

大町有香子（京都工芸繊維大学）▽「ときどき玄関」

宮田太郎（日本大学）

【ベスト8】

▽「那古野リチャーム」

桂川岳大（名古屋工業大学）▽「清澄アーカイブス」

半田洋久（芝浦工業大学）▽「食人住宅」

新延摩耶（慶応義塾大学）▽「浚渫士を消費し、街を耕す」

図書館・銭湯の複合施設提案

- ▽「往時を辿る（たどる）」
- ▽「若島咲（神戸電子専門学校）」
- ▽「長屋諒子（名古屋工業大学）」
- ▽「土を消費し、街を耕す」
- ▽「道」
- ▽「往時を辿る（たどる）」
- ▽「若島咲（神戸電子専門学校）」